

経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県 みやき町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	12.12	100.00	3,780

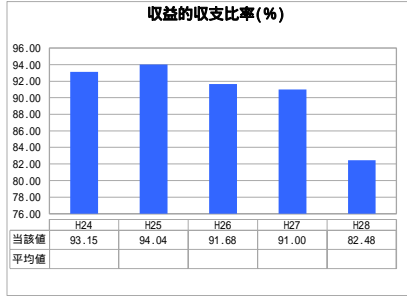
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,552	51.92	492.14
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,090	1.03	3,000.00

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



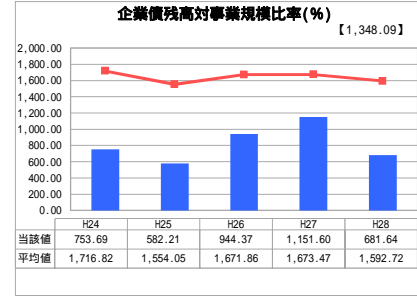
「単年度の収支」



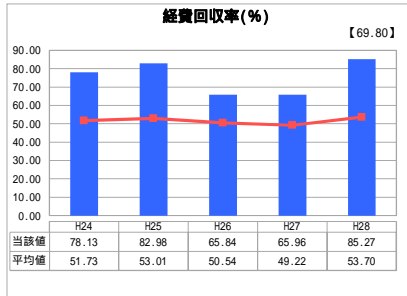
「累積欠損」



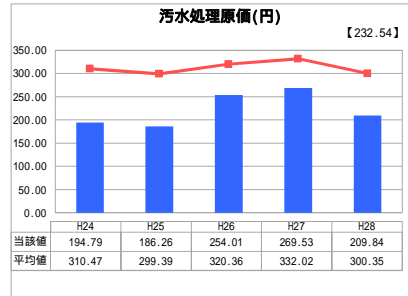
「支払能力」



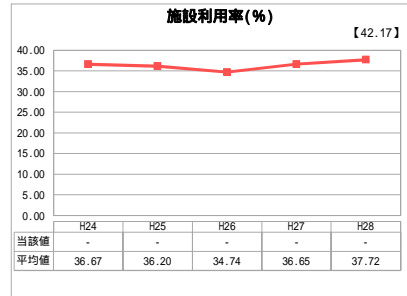
「債務残高」



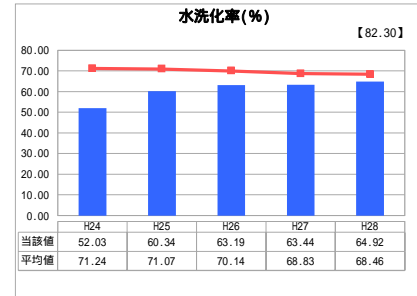
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

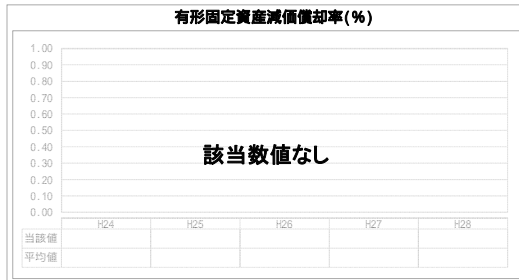


「施設の効率性」

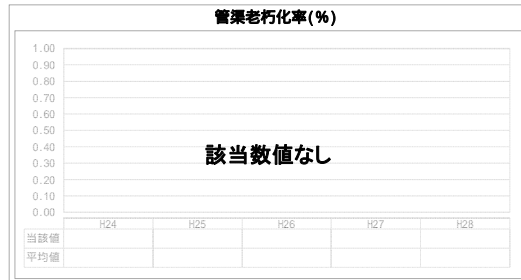


「使用料対象の捕捉」

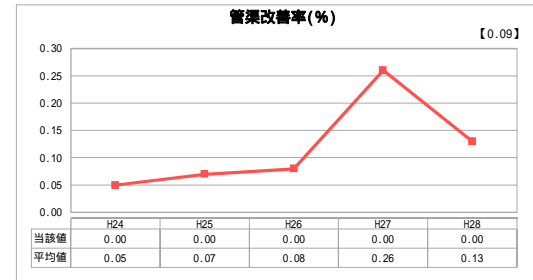
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は平成25年度に全体計画の見直しをし、平成37年度に整備を完了する計画である。平成28年度末において103haを整備しており、整備率は5割に達している。

平成18年6月から供用開始しており、処理区域・処理人口が拡大しているため、水洗化率は年々上昇している。

平成17年3月の市町村合併により公共下水道事業との2事業をおこなっており、分析上経費を案分している。

経費回収率については、使用料金の増加や建設費に減少に伴い、汚水処理原価が減少し経費回収率は増加している。

収益的収支比率については、使用料収入は増加となっているが、地方債の償還金が増加しているために下降傾向となっている。

汚水処理整備済み地区の未接続者対策や新たな整備地区の早期接続の啓発を行い、経営安定化に向けた収益の増加を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成18年の供用開始から11年目であり老朽化対策については実施していない。しかし、今後想定される定期的な修繕や大規模改修を視野に入れた計画的な財源確保をおこなっていく必要があり、ストックマネジメント計画等を整備していく。

全体総括

供用開始11年目を迎え処理区域・処理人口は年々拡大し収益も上がってきているものの、建設費に係る償還金も増大している。償還金の財源としては使用料のほか、交付税措置相当分の一般会計からの繰入金金を充てているが、赤字補てんとしての繰入金の増加も想定される。

経営の安定化には収入（使用料）の確保が重要事項であり、未接続者への加入啓発に努力する一方、料金改定を含めた収入確保及び効率的な支出に努める必要がある。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。